

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 宇部校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員を厳守しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		状況によって個別指導に対応できるように人員配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		フラットな環境にしています。	運動療育がメインのため、現在車いすへの対応は行っていませんが、必要に応じて対策していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		学期ごとに事業所・個人目標を設定し、振り返りを行っています。	今後PDCAサイクルの社内研修を実施していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果に基づいてスタッフ間で話し合い、支援に活かしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内に掲示、保護者へ配付、ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、第三者による外部評価を行っておりません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月社内研修を行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者の要望や児童の課題について話し合い、個々に応じた計画書を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシート及び運動機能指標に合わせて評価を行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援前後に話し合いの時間を設けています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		特性に配慮しながら、楽しくからだを動かせるようなメニューを立案しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		時間を設けてスタッフ間で話し合い、決定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の特性やニーズに合わせた個別指導と社会性を育むメニューを組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に必ずミーティングを行い、その日の支援内容や役割を確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングの実施、記録作成等で情報共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々支援終了後に記録し、改善策を話し合っています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1度、個別支援計画書を更新しています。	子どもの状況や必要に応じて見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		アセスメントやニーズに合わせ、複数組み合わせ合わせて支援しています。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 宇部校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が出席しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて行事予定や送迎時刻の確認、連絡調整を行っています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在医療的ケアを必要とする利用児童はいません。	今後必要となった場合に体制を整えていきます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		担当者会議や訪問等、必要に応じて児童発達支援事業所と情報共有しています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	昨年度、今年度は対象利用者がいませんでした。	対象利用者がある場合は、見学や話し合いの場を設け、連携を図っていきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		会議や研修等に参加しています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後活動の場を検討していきます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		ブロック会議や研修に参加しています。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用時や面談などで話し合い、現状や今後の支援について共有できるよう努めています。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		専門性を高めていけるよう、研修の機会を設けていきたいと思えます。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談内容を記録し管理者に報告、その都度対応しています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者からご希望があれば今後検討していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情内容を記録し管理者に報告、その都度迅速に対応しています。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		来年度より学期毎に1回程度、活動の様子や行事予定等を記載したおたよりの発行を検討しています。
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報ガイドラインに基づき管理しています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 宇部校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		なるべく視覚的に伝えていきます。保護者とは電話やメールなど連絡の取りやすい方法で伝達しています。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染予防の観点から行っていませんでした。今後検討していきます。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを策定し、事業所内で誰でも閲覧できるようにしています。スタッフに関しては定期的に研修、訓練を行っています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年4回、平日に避難訓練を行っています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に社内研修を行っています。また外部の研修に参加し伝達研修を行っています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現在対象となる利用児童はいません。どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかは、組織的に決定しています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認、対応しています。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティングの実施、記録作成等で情報共有しています。		